

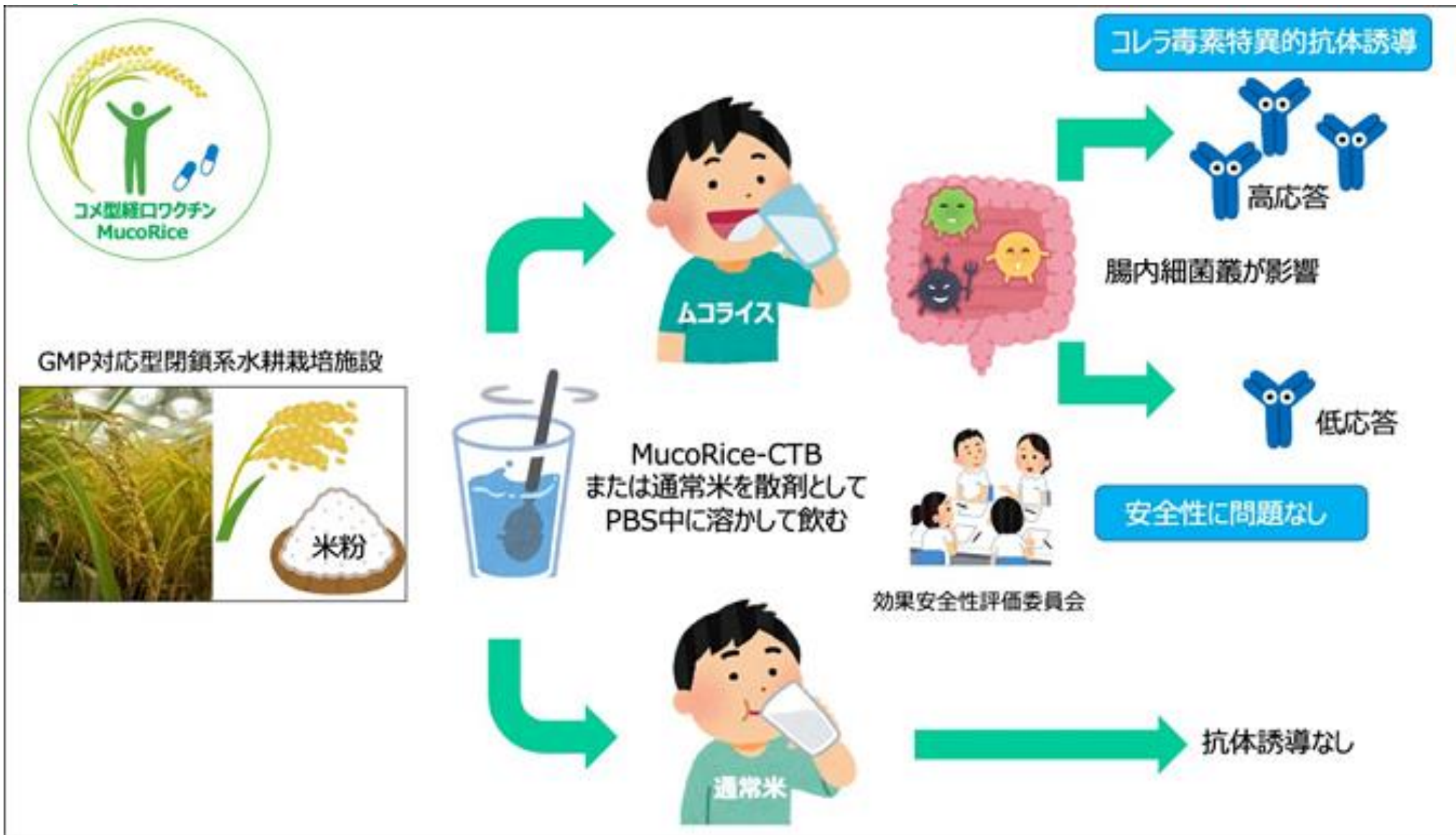
食べるワクワクチンの登場

- コロナ・ウイルスのスパイク蛋白質を
タバコの葉で生産（カナダ・メディカゴ社）
- カナダ政府が認定（18歳～64歳まで）
- 74%は効果あった
- 2022年6月 カナダ厚労省が認可



カナダ・メディカゴ社（田辺三菱製薬の子会社）
の圃場

(MucoRice-CTB) 飲むコレラ・ライス・ワクチン 東大 (2021年6月21日 Lancetに発表)



コレラの毒素遺伝子を米に挿入

食べるワクチン（蚕を使った）：九州大学



豚の感染ウイルス
抑制に成功



生命操作（遺伝子操作）による
新たな経済成長の時代へ

さて、どうする

最後に

新しい技術を受け入れるにあたって、

我々は何をすべきか

2008年4月
ドイツ生態学会での経験

テーマ

「遺伝子組換え作物の栽培が何をもたらすか」

河田の講演（2日目）

日本における遺伝子組み換えナタネの
自生について

港から製油所までの輸送中に種子がこぼれて自生

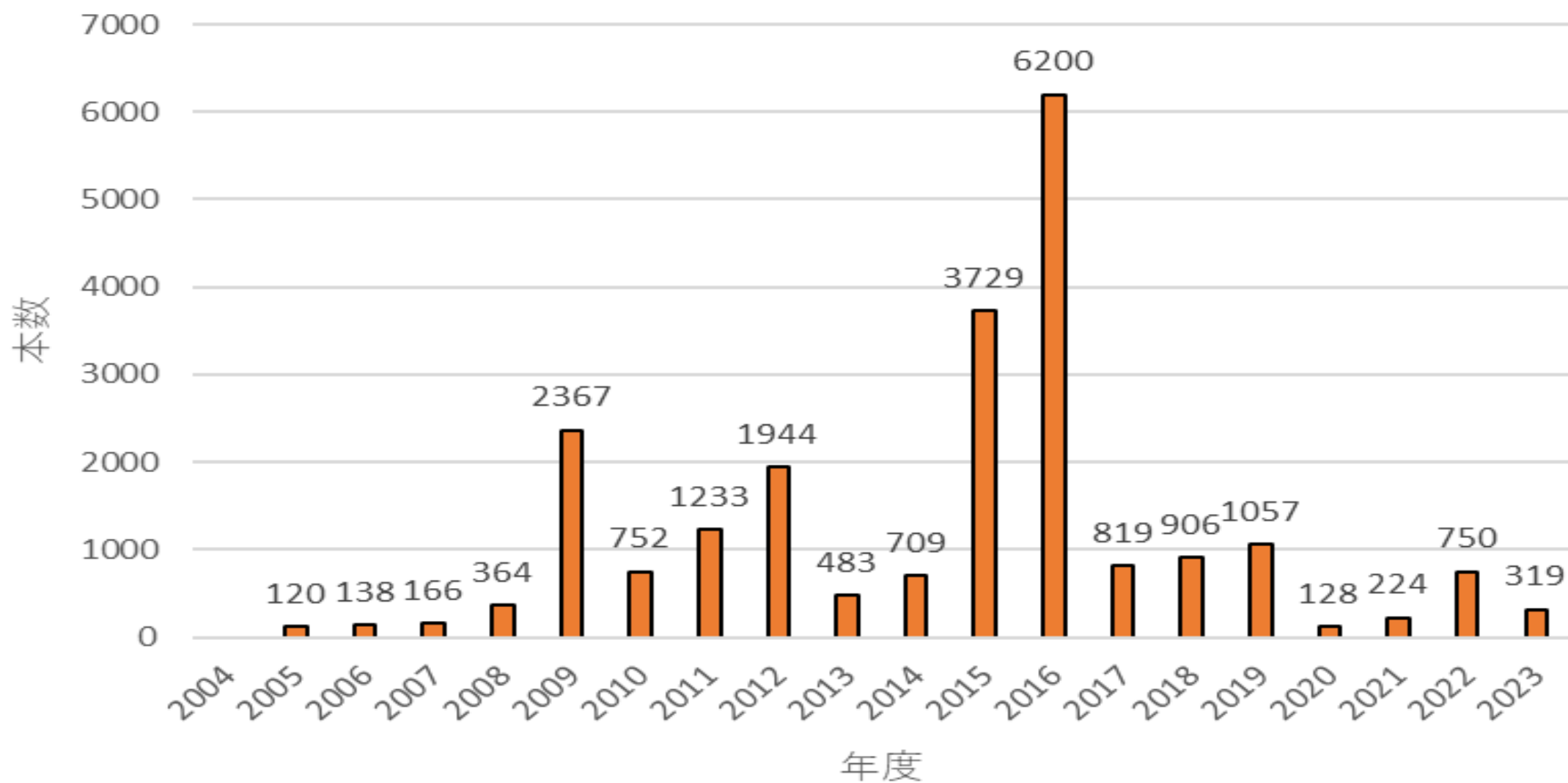


GMナタネ採取隊の活動開始(06年～)



- GMナタネの自生をこれ以上拡大させない
- 国内農業への影響を避ける

国道23号線の抜取り本数



ブロッコリーとの交雑

2009年11月7日
三重県津市内で確認
外形的にはブロッコリー
ラウンドアップ除草剤耐性
DNAでも確認 (PCR)

No.
2



2020年6月28日

雑種調査で抜きとり

野草が除草剤耐性に？

RR+

F. Keil 教授（社会学者）の基調講演（3日目）

（1）新しい技術について、既知と未知の境界をはっきりさせる。

（無知の知：私は自分が何を知らないかを知っている——ソクラテスの言葉）

（2）未知の領域の解明が科学者の責任

（3）既知の領域での技術開発を行う

既知の領域を社会が受け入れるに当たって 検討すべき課題

- (1) Nature (自然に与える影響)
- (2) Culture (社会や文化に与える影響)
- (3) Future (自然と文化の未来に与える影響)

Nature, Culture, Future

人類も自然生態系の一員
という自覚が必要

自然と文化・社会を破壊しない
社会の発展とは何かを考えよう